

# 『泥水あそび楽しいな』 1歳児 5月



## エピソード

泥水や泥を触ったり、スコップですくったりして遊んでいる子どもたちです。泥水をたくさん入れたバケツにお花を浮かべてみたり、スコップですくってきた泥を入れてみたり、思い切りバケツの中の泥水をたたいたり、それぞれ思い思いに泥水を楽しんでいる様子でした。また、泥水をたたいて遊ぶ時には、最初は跳ね返る泥水に少し戸惑いを見せていた子どもも、次の瞬間には友達と同じように豪快にたたいて、跳ね上がる泥水や、手でたたく感触、ピチャピチャ、バシャバシャという音を楽しんでいる様子が見られました。

## 子どもの育ちや学び

この遊びの様子から、泥水での遊び方が子どもによってそれぞれであることが分かりました。子ども一人一人が、「こうしたら面白そうだな」と思ってやってみたり、逆に、たまたまやってみたら面白かったというような様々な気づきを子どもなりに得ていると思います。

また、泥水のぴちゃぴちゃという感触やバシャバシャという音を楽しむことから、五感への刺激や、自然への興味・関心へのつながりに、そして、面白いと思ったことを何度も繰り返して行う様子は、探求心へとつながっていくと考えられます。

## 保育者の思い

一口に泥水遊びといっても、子どもによって遊び方や楽しみ方が様々であるというところが、このエピソードから読み取られ、そういった遊び方の違い、面白さの感じ方の違いを保育者はとても興味深く感じました。

泥水をバシャバシャとたたいて、その水の感触や跳ね返る泥水に面白さを感じている子どもや、直接触らないけれどスコップで泥をすくって落とすという行為を楽しむ子どもがいたり、本当に個性豊かに、自分なりの楽しさを見つけながら遊んでいる姿が印象的でした。

## 家庭だったら・・・

雨の日の翌日にできている水たまりや自然にできた泥の道などを通ることがあれば少し立ちどまって、子どもたちがどんな風に興味を示すのかを見してみるのも、おもしろいと思います。

